

大きく広がるお茶の産地！ 発生する病害虫には技術で勝負。

【研究のポイント】

- ・大分県は、“お〜いお茶”でブランド力のある(株)伊藤園と組んで、「ドリンク茶」用茶葉生産団地の育成と振興をすすめています。
- ・農業研究部茶業チームは、このような大規模な茶園に発生する病害虫の防除技術の開発に取り組んでいます。
- ・「ドリンク茶」とは、ペットボトル等で市販されている今一番売れている飲料水で、一定基準(香り、色等)をクリアした大分県産の「茶葉」が”お〜いお茶”の中に入っています。



広大なドリンク茶専用園(杵築市)

【研究の成果】

- <大規模茶園に発生する新害虫(チャトゲコナジラミ)の防除>
  - ・発生状況を調査し、生態を解明するとともに、防除技術を確立しました。
- <噴霧ノズルの改良>
  - ・葉の裏に寄生するチャトゲコナジラミに薬剤がかかりやすいような噴霧ノズルの改良に鹿児島県と共同で取り組んでいます。これにより、新害虫の確実な防除と管理作業の省力化が期待されます。
- <その他の病害虫への対策>
  - ・クワシロカイガラムシのふ化する最盛期を気象データから予測する技術を確立しました。
- <防除マニュアルを栽培暦に反映>
  - ・これらの成果を栽培暦にまとめ、効率的な生産ができるよう関係機関とともに普及に努めています。



新害虫：チャトゲコナジラミの幼虫(左)と成虫(右)



(下葉にススのような被害がでる) 新ノズルでの効果的防除試験で成果

【生産者の声】



現在33haの茶園があり、研究員さんたちが来てくれて農業や気象などのいろんな情報提供や指導を受けながら、一緒に協力して良い試験が出来て助かっています。  
今後15ha新規造成を計画しており、試験研究成果のきめ細かな普及に期待しています。  
(カヤノ農産 河野 杉雄)

【広域普及指導員の声】

お茶の”広域さん”は県下全体の茶生産農家の茶園を見ながら、普及、指導を行っている専門普及員です。



大規模茶園では全園を防除するのに1週間もかかります。このため、通常の栽培では問題にならない病害虫が大発生するなどの苦労があります。

研究員には、病害虫の発生予察や現地試験を積極的に行ってもらうことで、私どもと連携して茶の産地化を進めています。(竹中、高野)

【連絡先】

担当：農林水産研究指導センター 農業研究部 茶業チーム  
連絡先 TEL：0974-28-2082  
住所：大分県豊後大野市三重町赤嶺2328-8